

令和5年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 まち資源 室 文化振興 課

1. 基本情報

1006

施設名	伊丹市立演劇ホール（アイホール）				
施設の設置目的	市民の自由な創造活動を促進し、文化の発展に資する。				
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱： 市民力・にぎわい・活力 施 策： 歴史・文化 実施施策： 芸術・文化活動の促進				
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内				
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	令和 4 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日			
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)			
	指標の意味	年間の施設来館者数			
	今年度の目標値	38,000		今年度の実績値	34,518

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	R元	R2	R3	R4	R5(上期)	R5(通期)
	来館者数(人)	34,461	39,549	21,716	28,676	35,464	15,120	34,518
	貸し室稼働率(%)	56	53	46	46	49	46	49
	延べ事業開催回数(回)	35	41	36	33	19	21	28
	延べ事業参加者数(人)	7,472	12,152	6,720	7,991	3,706	2,974	5,147

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

	区分		令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	3ヵ年 平均
収入	使用料収入		9,814	14,695	11,389	11,966
	事業収入		5,724	2,963	3,253	3,980
	その他		6,724	3,480	3,218	4,474
	指定管理委託料		83,569	56,319	59,840	66,576
	①合計		105,831	77,457	77,700	86,996
支出	維持 管理	光熱水費	12,248	13,768	13,034	13,017
		清掃等委託料	21,622	22,369	20,662	21,551
		土地建物賃料	0	0	0	0
		修繕料	1,533	3,153	3,011	2,566
	運 営	人件費	44,610	18,952	19,127	27,563
		事業等経費	16,832	9,282	10,442	12,185
		その他	6,448	7,646	7,521	7,205
		指定管理納付金	0	0	0	0
	②合計		103,293	75,170	73,797	84,087
純収支（①－②）		2,538	2,287	3,903	2,909	

施設の管理運営に係る実質経費(市の負担)※ <単位:千円>		H30	R元	R2	R3	R4	R5
	市の収入	1,860	1,806	1,730	1,860	1,956	1,860
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	101,150	112,649	127,174	85,495	62,814	60,438
	(内、指定管理委託料)	92,227	89,465	90,671	83,569	56,319	59,840
実質経費(歳出一歳入)		99,290	110,843	125,444	83,635	60,858	58,578

※施設建設・大規模改修等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	B	設備の経年劣化は否めないが、整理整頓・清掃が行き届くよう、利用者の安全・利便性が損なわれないよう、舞台管理スタッフや清掃・設備運転管理業者と協力し務めた。	B	施設の経年劣化がありながらも、施設管理者や関係者と協力しながら、利用者の安全性・利便性に配慮した運営を行うことができている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	アートマネジメント研修や他施設の事業見学その他、舞台安全管理に関する研修なども積極的に受講し、その内容について職員間で共有した。	B	サービス向上のために必要な研修に参加しており、受講した内容については職員間で共有するなど、施設の管理運営に活かせるよう取り組むことができている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A		A	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	アリオとの合同消防訓練を行うとともに、館内の防災設備について職員へのレクチャーも行った。	B	関連機関と連携を図りながら、適切に防犯・防災対策に努めていた。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	イベントホールの新たな利用料金制度「公演プラン」を打ち出したことにより、初めての団体の公演利用件数が増えた。初回利用でも安全・円滑に公演が行えるよう、設備面の説明を念入りに行った。	A	新たな制度の導入にあたり、積極的に様々な団体に案内を行い、利用者層の拡大を実現した。苦情に対しても、対応可能な範囲で適切に対応していた。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	演劇を通じての地域や市民とのつながり、また伊丹市民に開かれた施設であるよう意識した事業を行った。	B	市民参画や市民への還元を意識し、施設間連携事業など新たな利用者獲得に向けた事業を積極的に行った。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B		B	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	他劇場の公演やアイホールの貸館公演にチラシ折込みを行い、館のHP、メールマガジンの発行の他SNSへの投稿も積極的に行った。	B	SNSやデジタルサイネージ等、様々なツールを利用し、随時情報発信に取り組んでいる。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	文化庁などの補助金交付を受け、収支計画に基づき適正な運営・経理処理を行った。	B	収支計画に基づき、適切な事業運営に取り組んでいた。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	総合評価 B	貸館利用を促進するなど経営改善を図りつつ、市民の認知度を高めるため、施設間連携事業や市内飲食店とコラボレーションしたアウトリーチ事業を積極的に行った。また、新たな制度の周知等を図り、新規利用者の獲得に努めた。

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「A」＝良好である又は成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和 6 年 3 月 1 日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り	館内の清掃状況についての回答は「非常にきれい」「きれい」が91.5%であった。 一方「トイレを全面的に洋式にしてほしい。」「ウォシュレット希望。」などの回答が複数あった。	設備の古さから快適とはいえないが、きれいに保たれているという評価はいただく。今後も清潔さ、美観の維持に務める。
回答者数	2,579	主催事業の満足度についての回答は「たいへん満足/満足」合わせて86%であった。また昆虫館との施設連携事業において「アイホールに初めて来た」の回答が70%に上った。
		演劇愛好者にも伊丹市民にも満足していただける企画を検討し、今後も新たな顧客層の拡充に務める。

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置